飯田市竜丘公民館報 たつおか

発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報部
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市伝馬町電②5353

岐路に立つ竜丘

その一

構造改善、はずれる
都市計画区域で検討

▽二月頃より話題にのぼり市役所農政課、農協が中心となり計画を進めて▲▼いた第二次構造改善事業は、竜丘地区としては各区での説明、懇談会が▽△行なわれ次第に世論の盛り上りが見られていたが、その後農協役員改選▼▲市議選が行なわれ中断されていた。その間当初計画されていた竜丘、山▽△本、川路を一地区とした構想は崩れ、山本のみ指定されるという結果に▼▲なった。そして竜丘は都市計画区域として検討される事になりました。▽△以下農業構造改善と都市計画区域のあらましを探ってみる。▲△

農業構造改善事業

専業農家の育成、協業化の推進を目途とし、農業経営の近代化を図ろうとする農業構造改善事業は四十五年度より第二次に入った。一地区二〇〇ヘクタール、四億円の事業費、一市町村一地区をたて前飯田市では当初竜丘、山本、川路を一区域とみなし五億九六八十万円の事業費をもって計画されていたが、今回山本のみ適用される事になった。

この間の事情を市当局では「いかにして山本・竜丘を結びつけるか研究していたが、県としては一山越えた三地区を一地区とは認め難い、二地区としてやる様指示された」と言っている。山本が指定され竜丘がはずれた事については山本の方が農業規模が大きく自立農家育成の目的に叶う事もさる事ながら、地区長、農協、市会議員等一丸となっての運動もあったようだ。

そうした中建設省の都市計画法の六月施行がうちだされた。飯田市でも都市計画を進める中で、旧市松尾、伊賀良、座光寺は現在の進展状況からも近い将来市街化が予想される。竜丘も隣接の松尾、伊賀良の都市化進展状況にかんがみ都市化が予想される。又可能な地域という事で都市計画区域となったと見られない前記五地区以外の地区が税の公平化という面から都市計画税の廃止が決った。（三月定例市議会）と言う事で新たに都市計画区域に指定されたと言う事で正しくは、近い将来都市化の可能はない。

都市計画区域

ここで建設省の都市計画区域について少しく記してみると（詳細は次号）三つのものがある。①②は首都圏、近畿圏、中部圏の既成市街地又は新産都市等につき省略。③として、人口十万以上の市で人口が五年間に五%以上増加し、又は二、三次産業就業者が五年間に五千人増加しているもの及びこれに連接する市町村という事で飯田市がもし概当するとすればこの③である。

現在県下で検討されている市町村は長野、松本、諏訪を中心としこれに連接する市町村で、第一次として飯田市が都市計画区域の指定を受けるかどうかは未知である

◎都市計画区域に指定されると
◎農業投資が制限される。
◎固定資産の評価が上るだけでなく都市計画税が〇・三%に上る

又この計画では市街化区域（積極的に町づくりをする）と市街化調整区域（市街化を制限する）がある。

◎農地転用のワクがはずれ届出だけで良くなる。

こうした都市計画区域等の問題もからみ、竜丘地区が都市計画区域となるのが良いのか、調整区域とすべきか、或いは農業構造改善をするのが良いのか、市担当者としてももう少しつめた方が良いという事から今回の農業構造改善を見送ったと言っている。

さて我々地区民はどう進んだら良いのか。これは竜丘の将来にとって大問題である。

農協、自治協議会、各区、各団体、市会議員、その他あらゆる人機会を通し、竜丘の将来をどうするかを研究し討論しどの方向に進むかを地区民一人一人が真剣に考え一丸となって進む時期にさしかかっている。

尚本稿は締切直後の組替え記事にて不充分な点、解りにくい点が多々ある事をお詫びし、広報部としても今後研究を重ね地区民の皆様にお伝えする事をお約束します

婦人会

昭和四十四年度婦人週間のテーマは「婦人の能力を生かす自主的な生活設計を持って」という事でした。今年は次の三つを取り上げて実行して参りたいと思います。

①明るい家庭造りに努めましょう
②物価値上りの抑制に努め暮しを守りましょう。
③時局を見つめ政治学習をいたしましょう。

私達婦人は家庭を守り次代をになう子供の母であるという事を第一に考えて行きたいと思う。現在の社会を見ると私達の育った頃とは何という違いでしょうか。今こそ私達は自分の足許、家庭のあり方を良く考えて行きたいと思う。

第二の物価値上りの問題等も一人の力では何んともなりません。団体の大きな力例えば旧市の乳価抑制等多数の力で出来たのです。又有害添加物等調べ家庭の健康管理に役立てたいと思います。

第三の問題、明るく正しい選挙をと常日頃から唱え勉強もして来ましたがさて選挙ともなると嘆わしい事ばかりです。或男の人曰く選挙は大人のおん火だから仕方がない等と無責任な事を言って居ます。これこそ明るく正しい方向に婦人の力でおし進めて行きたい、

青年会

四十四年度の竜丘青年会も今日の厳しい社会情勢の中で総会が開かれ、今年の基本方針、活動方針が決定され、活動が始まりました。

「青年の生活と権利を守り平和な住みよい社会建設の為に団結し相互の信頼から人格の向上に努めよう」を基本方針に。

一、会員として自覚と責任を持ち規律ある会活動を行なう。
二、組織を強化し多くの青年達と手を握ろう。
三、学習活動を進め社会的視野を広めよう。
四、健全な文化、スポーツを発展させ身心をきたえよう。
五、身近な問題を気楽に話し合える場を持とう。の五つの活動方針の基に今年もスタートしました。

今年は新たに情宣部が発足し、青年会の動きを多くの青年に地域に伝えて行くという前進的な方法も作りました。

今年も学習会にスポーツに方針に基づいて頑張って行きたい。

各団体今年の方針

老人学園

四月九日の春季総会に於て承認を得、其後会長会委員会にて審議検討の結果、竜丘老人学園昭和四四年度事業計画案並に予算案が決定本年度大綱が出来た。その内事業計画、本年度重点施策として

①老人福祉センター建設促進運動市老連を経由市長へ請願書提出
②寝たきり老人調査と慰問実施。村内全域一般老令層を対象に慰問方法、各学位毎に知友、グループで　時期一敬老週間中に行なう。
③文集の発刊。明治大正昭和と三代に亘る尊い記録を村内六〇才以上老令者の協力により集録。年度内に発刊
④老人学級開催。公民館の協力に時代を認識、理解を深め少しでも地域社会の為に尽したい。

▽時局講演会二回▽老人福祉について一回▽健康管理二回以上が本年度重点施策の概要です。皆様の御協力御批判を頂き、より良き学園育成に努めたい。

精薄児施設
明星学園開園する

現在飯伊地方には一八二名の精神薄弱児がおり、当地域には精神薄弱児の収容施設は阿南町にある定員七〇名の組合立阿南学園があるだけ、現在の収容施設では、とても収容しきれず、施設に入りたくても入れず、そして、なんの教育もなされず過ごしている子供達が大勢いる。このような不幸な子供達が一人でも少なくなるようにと精神薄弱児を持つ飯伊地方の親の会（手をつなぐ親の会）などの強い要望にもより、関係者が、国県と折衝を続けた結果、このたび駄科新井原地籍に四カ年計画社会福祉法人（県から計画で、委託された）明星学園が、この四月から開園された。

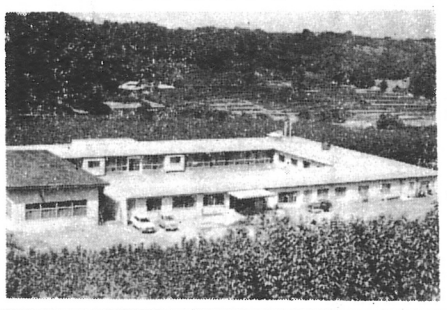
この精薄児の施設を作るに当って、候補地として、鈴岡公園の裏伊賀良の三日市場、今の新井原地籍がとげられたが、他は水の便が悪く又、土地売収が思うようにゆかず現在地におちついた。

当地籍は、空気も良く町の騒音もなく、人里はなれた丘で、精薄児収容施設にはうってつけの場所に開園した。収容人員は、五〇名であるが、来月中には定員に満たす見込だと云う。

建物の構造は、ブロック一階建て、敷地一七〇〇坪、建坪三〇〇坪、総工費二六〇〇余万円の内、一七二六万円国、県からの助成により、残りは法人団体が自己負担で完成させたが、まだ竣工式はしていない模様。

入園児の一カ月の収容経費は、約一万五千円、これは国が一時金額助成する。しかし、保護者はその何割かを所得に比例して国に収める。食事は一日一九二円（人件費を含ます）これで普通以上の食事が出来、入園した児童の体重もこの一カ月余りの内に〇・五～二キログラム増した。

現在職員は宮下和子園長を始め十五名、宮下園長は、鼎町切石に保育園を経営している。入園児は



新井原に開園した明星学園

各種役員

【老人学園】◇園長　今村薫一　◇副園長　久保田吉郎、今村きく　◇総務　伊藤直人、下平幸一、岡村重治◇記録　中平源一

【消防団】◇分団長　原寛　◇副分団長　増田義和　◇庶務部長　前島昭男◇警護部長　下平正明◇消防部長　金子隆一◇責任班長　駄科坂金正一、長野原小林森義宏〇女子　林清子

【婦人会】◇会長　伊坪よし　◇副会長　大見きさ子、吉川たけ　◇会計　木下よし◇記録　小笠原正美◇班長　駄科伊東真美　時又宮内とみ子、桐林岡島うめ、長野原今村末子、上川路増田千恵子

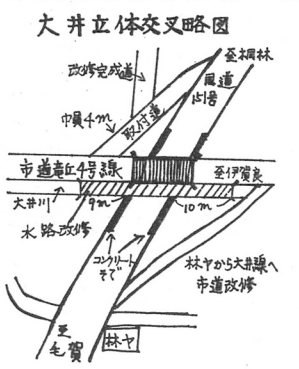
【青年会】◇会長　久保田公夫、◇副会長　前沢敬司、原すみ子、◇部長〇総務　牧内保夫〇社会産業　熊谷和美〇文化厚生　下平広、〇情宣　時又伊原康隆

国道
大井の立体交叉

国道一五一号線の改修工事は、駄科地籍に移り、すでに路線の家屋は全部取り除かれ着実に進行している。

この工事により現在の伊賀良と竜丘を結ぶ市道竜丘四号線（大井線）は新国道と立体交叉することとなった。陸橋工事が行なわれているが高さ十M、長さ十六M余、巾三・六Mの鉄筋コンクリート橋です。大井線に沿って流れている農業水路大井川については、現在鉄管で少量の水が流されているだけであるがこの水路については、陸橋工事と共に行なわれており、近い将来行なわれるであろう市道一級改修工事計画の中員六M道路の設定でコンクリートブタをすれば良いだけの企画で工事が行なわれ二カ月程当初の計画より遅れたが、五月二十五日完成。又国道と大井線との高低差が五M位となる予定であり取付道路は図の様に中員四メートルで接続し、これが完成すると桐林から農協へもこの国道を通ると時間が短縮される。

又林屋さんから大井線への道路も市道改修の計画によるとほぼ直線で結ばれる事になり、駄科地籍の交通の要所に変貌する事は必至である。



新主事に塩沢稔氏
河井さん農政課へ

三月末の市役所人事移動により公民館主事河井辰雄氏は市役所農政課へ、後任には農政課より塩沢稔氏が配任されました。

河井前主事には昭和三十四年七月より九年九カ月の長きにわたり竜丘公民館活動発展の為に御尽力頂きました。

後任の塩沢稔さんは長野原出身で農家の方は農業問題でお世話になっていた方ですが、十余年前昭和三十二年公民館主事として御指導頂いた事もあります。

新任挨拶
塩沢稔

四月一日付市役所の異動で竜丘公民館勤務を命ぜられ早くも一カ月余となりました。

公民館活動の活発に行なわれていると云うことはすでに見聞はしておりましたが、この一カ月間夢中で過ぎてしまいました。

市議選も過ぎて青葉、若葉の時期となり、各種団体も事業計画や予算案を審議する総会も終り、四十四年度へ力強く第一歩を踏出して出発した事をご同慶に思います

私も十年余り市役所で農業関係にたずさわっており、この公民館活動も初歩からであります。みなさんの団体が活発に事業をしておるのにも驚きました。

然し何時迄も驚いてばかりしておれません。腕を組んでもおれません。ボソボソ動き出さなくてはと思います。

さて、私達の生活をとりまく社情勢はなかなかむずかしい問題会

宮下園長談

この事業は営利を目的としたものは無く、社会福祉的なものです。知恵の遅れた子供達が少しでも明るく楽しい生活が出来るような教育をしたいと考えております

竜丘地区を通過する国道もみなさん方のお骨折により間もなく全通し、地区の中央を大型百動車が通過するのも目前に迫りました。

又中津川線も伊賀良、山本地区では着工し、中央自動車道も上飯田で用地買収が終りまさに夜明け前と云った所。

農業をとりまく情勢も並大低なことでなく、安定しておった米作りも今では米が余って水田から他の作物へ転換をすれば補助金を出すと云った現状です。

このような中で公民館活動を推進して行くにはどうしたら良いか私が思うにはみんなで話合ったり研究したりして公民館活動を推進していくより外ないと思います。

先輩各位が築いてくれた活発な活動を更に推進するよう精々努力するつもりであります。

今後共ご指導の程お願い致します

ごあいさつ
河井辰雄

昭和三十四年から今年まで約十年の長い間、竜丘公民館主事としてお世話になりましたが去る四月一日付をもって市役所農政課勤務を命ぜられました。

想えば昭和三十四年は内外ともに多難な時でありました。日米安保条約の問題や高度経済成長政策特に農業基本法の制定をめぐる住民生活への影響は物価の問題をはじめとして、農村の労働力と兼業化の促進など農村が変る一大転機を迎えようとしている時でした。

私は責任まもなく地区の大勢の方々とこうしたさまざまな問題をテーマに連日学習会を開きともに考え話しあったものでありますがそうした中で本当に社会教育の重要性をあらためて痛感したことを覚えております。

それから今年まで、常に市民の生活がより豊かになることをねがいながら学習に文化、スポーツの活動にグループ、サークル、各種関係団体の活動など未熟者でありましたが毎日楽しい気持で働くことができました。

これはひとえに地区の皆様方の暖いご理解、ご協力と常に親切な励ましをいただいた場であり心から感謝し厚く御礼申し上げます。

職場は変りましても皆様方にご指導いただいた教訓はいつまでも決して忘れることなく新しい農政の仕事に生かし精いっぱい努力いたします。今後とも一層のご指導をお願いし誠に簡単でありますが御礼をかねご挨拶といたします。

ヤブ蚊

▼4・28沖縄デーは、代々木公園に10万人の仲間を集めて行なわれた。23年の異民族支配打破をめざしての社、共、沖縄代表、市民を含めての大統一行動は大成功した。しかしマスコミは全学連諸君のすさまじい暴力だけを報導していました▼彼等は、安保反対、沖縄奪還、反米……等の左翼〝思想〟を持ち実力行使〝暴力〟をもって目標を達成しようと信じ、道路の敷石をはがす、電車を止める、火災びん等々で斗っている。その辺から来たのか彼らを〝反日共系全学連〟と呼んでいる。政府自民党は彼等が市民に多大迷惑をかけている事を口実に、大学立法、機動隊増員……と弾圧強化にのり出して来た。▼しかし世の中には不思議な事がある。先日の東大争議の時、白昼公然と道路の敷石をはがすもの、角材を校内へ持ち込む者を何ら手だしせず見逃していた。口では共産主義を叫ぶ団体を政府がなぜ対決しないのか、又彼等暴力全学連は本当に〝政府と対決する団体〟なのでしょうか、それとも政府がおよがせている団体なのでしょうか？　そう言えばマスコミは国民の悲願である沖縄統一行動より、彼らを大々的に扱っている▼しかし事実はかくし切れないものです。70年まであと半年、安保沖縄問題を自分達の生活を基点にとらえ、積極的に学習して行きたいものです。その時マスコミのニュースの取扱いも細心の注意を払って見る必要がありはしないか

〝学習の場作り〟充実

P・T・Aが労力奉仕

▽…小学校の前に立つと、色彩・造型豊かな施設がグランド南側…△
▽…に出来、小学校のイメージが変りつゝあり、〃百年先を思う…△
▽…なら教育を考えよ〃、大学問題、教育ママ、ひいては青少年…△
▽…の不良化と次代を育てる場所として、小学校をのぞいてみた…△

親しむ遊びの中から

小学校

竜丘小学校では、学校教育の効率的な指導方法として、又、片寄った児童を育て上げない予防のための教育の方法として日常の生活と遊びの中で充分に児童に親まれ、持続的に、心・体・頭脳の総合的な向上のために、独自な施設、設備を計画、すでに三年前から実施し、今年度末までには第一次計画が終了

体育コーナーの諸施設には系統的にまとまったものとして県内はもとより、全国的にも注目され、NHKテレビにも紹介されて見学者も多い様です。

グランドに設置された体育施設は全国的な児童の実態を見、また肥満児童加の傾向も表れ朝礼の間にも数人の子供が倒れることもあり、必ずしも竜丘の児童が好ましい方向にあるとはいいがたい。

児童はたえず動き運動しているが、その行動の多くは遊びの域にとどまっている。したがって身体を鍛えるという自覚された運動が不足勝ちであるため強健な身体作りには体育時間の指導では尚遠い感をいだかせるのであり、この様な状態を打破するために、脚の振り上げ測定場・棒さぐり・登り棒・片手回転棒・平均台・跳び起し台・跳び越し輪くぐり・ボールたたき・タイヤくぐり・鉄棒・スベリ台・芝生・川とびこし・とび石・ボール運動の諸施設を設けて体育時に位置づけると共に児童が日常の生活の中に充分に作用でき、自発的に、計画的に身体作りに向せようとするものである。

校長先生は「地域の方々には市民運動会、その他の集りのグランドが狭くなりましたが、児童の健全なる教育と発育のために、御協力願きたい。」と云っている。

体育施設の設置には市の教育委員会を通じて市から資材支給を含め約二千万の助成、自治協議会から約十五万、計三十五万。物価高騰の折、特に人雇費の高い時にPTAの延べ一〇〇人を越す労力奉仕と吉川工業、地元関係者の善意に依り完成した。「グランドの施設全で一〇〇万円はかかるであろう」といわれている。

更にまた、新しい指導要領の移行期間には視聴覚教育の充実があり、すでに伊賀良小学校ではテレビ放送の施設が出来、松尾、下久堅小学校でも教育の中にテレビが使れて、児童のしつけ、教育に高い効果が期待されている。しかしながら経費については、篤志家の寄附にたより、その方面からの確実な予算の裏付が望まれている。

鉛筆かついで

これからの農業について「遅れている基盤整備をして耕種部門を合理化、国道開通に伴い畜産の団地化を図り自立農家の育成に努めたい」という構想を話されたが、この問題問く方が一寸無理難題で農政の貧困の中で迎える貿易の自由化、労力の老令婦女子化等これは一人竜丘のみならず日本農業の当面する難問で、一単協独自で解決出来る問題ではない。そして農民の意識の向上、協力がなければ前進するものでもない。

昭和三十二年より三期、天龍社の関係で留守がちだった岡村組合長の下で専務として農協業務を取り仕切られた。農協に精通されている斉藤新組合長に前途を期待したい。

斉藤正氏と言うと数練を思い出す人も多いと思う。昭和五年から十三年間竜丘青年学校の主任教官として、体育、軍事訓練、夜間職業科と青年の指導をされていた。当時生徒だったある人は、その頃の斉藤さんを評して、「軍人らしい威厳のある人、平たく言えばおっかない人と恐れられていた。」と言う。現在四十代の人には懐かしい人である。

農協組合長になった

斉藤　正氏

今の斉藤さんから受ける印象は隠健そのものである。この人がそして知られたその人と同一人物とは思えない位である。――――

――昭和十八年、青年学校の生徒の「勝って来るぞと勇ましく」の大合唱の中を「男子の本懐これに過ぎる事なし」の感慨がこみあげる中を北支へ向ったという。北支では機密取扱をされていた。やはり信頼されていた人である。戦地はいずこも同じ、物資を尊ぶ精神を肝に銘じた。石灰分の多い北支では飲料水を濾り歩くそうである。吉川英治著「宮本武蔵」が立候補し、九十％余という高い投票率で各定数の理事、監事が選出

動きだした竜丘農協

二十一回総会開かれる

竜丘農協の第二十一回総会が四月五日に行なわれた。本年の総会は、役員改選の年でもあり、こうしたことから出席率がよく委任状を含め、五四四名（組合員六二四名の九十％弱）が出席し盛会のうちに行なわれた。

又、二十五名の青年部員が、組合に新加入し、組合員としての自覚と若く斬新な考えを組合に反映させようとしている。

今回の役員選挙は部落懇談会の折、又、農協青年部の決議等によって今迄の部落推選又、部落ごとに異なる投票数といった、不平等をなんとかし協同組合の本質である平等の精神にもとし、役員としての適任者を選ぼうという気運があった。こうした中で、各団体からなる選挙諮問委員会が出来、全地区一本の公選制、一人一票の単記、立候補制等が諮問され、この線で選挙がなされることになった。

こうして今度の選挙が行なわれ総会の当日迄に理事十六名（定数十六名）監事八名（定数七名）が

一家業の養蚕は、戦前の最盛期には六〇〇メ位収繭した竜丘でも指折りの養蚕家である。

一杯入り、旅行中に西田佐知子を見てからすっかり気に入ったという「アカシアの雨がやむ時」が出る様になれば程良く湿った証拠である。

明治四十一年長野原生れ。

沖縄報告

私の見た沖縄

四・二八沖縄デーを迎えて、この四月二十八日は、沖縄が本土から切りはなされた日です。沖縄県の人達にとってこの日は忘れがたい屈辱の日です。あの激しい戦争に敗れ米軍に上陸され占領、沖縄県民の全く意見を無視して、米国施政下に置かれることになり、その状態が二十四年間たった今も続いているのである。

知らない人にとっては何でもないこの日を、私は一人でも多くの人に知らせながら、共に一日本人として沖縄の祖国復帰を叫んでいきたい。そして現在の沖縄の状態を皆さんに知っていただくことが必要だと思いますので、私の担当して来ました教育面の実態報告を

本土との教育較差

沖縄では戦争によって校舎はほとんど焼かれたり、こわされたりしてしまった。だから戦争が終った時は教室も黒板もない、青空教室から始め

教育施設の貧弱

―学力の低下―　5回

られたのです。その中での先生方の努力は並大低のものではなかった。又男の先生方の多くは戦死してしまったりしたので女の先生方が多いのである。現在では台風がとっても多いために、鉄筋ブロックの恒久校舎の建築に切り替えられたが、戦争によって皆無となった教育施設の再建にはなかなか手間どり、一九六五年五月現在で生徒一人当りの校舎面積は、全校の約五〇％しか保有しておらず、学校教育の基本施設である体育館、講堂、水泳プール等の施設を持っているのは全島でたった三校位です。又図書館、図書冊数においても、本土の五年前の半分といった貧弱さであり、図書館といっても教室の一部分を仕切って利用しているといった現状です。

本土より強い民族意識

学校で先生方は生徒たちに、日本人としての自覚を持たせるような教育を行なっている。そのため校舎の壁に、黄色い大きな日本地図の描かれている学校もあった。

ものすごい爆音、六年間に一年間分もの授業を中断

B52の発着しているあの加手納基地から一〇〇メートルと離れていない所に、屋良小学校がある。そのため、戦行機の発着の爆音によって六年間のうち一年間分もの授業が中断されてしまうのです。そのため学力の低下が著しく生徒たちの精神面に及ぼす影響はとても大きいのです。一口に精神障害といっているのが、注意力・判断力が低下したり、思考が鈍り刹那主義になったり、性格的に常にいらいらしたり、短気で粗暴性が強くなったり、他人や集団に対して協調性が少なくなってしまったりするのです。あまりにもひどい爆音のため、近年になってやっと防音装置をつけたのですが、二重窓でしめきってしまうので冷房装置が必要となり、それにより弊害が出ています。

重い教育父兄負担

沖縄県は憲法が適用されない為教育費は全て父兄負担によりまかなわれていますので本土の二倍です。教育面での矛盾も広頭下にあることが真の原因があると感じたのです。

北沢伊津子

〔つづく〕

あの人　この人

四月

◎伸よ健やかに

氏名　部落　父名　続柄
木下富美子　駄科　武彦　長女
林　寛一　駄科　寿久　三男
下平　明　桐林　恵敏　三男
木下　陽子　時又　和彦　長女

◉永遠に幸あれ

（下平　嘉瑛　駄科
木下あや子　喬木村より
（原　信行　駄科
（牧内かつ子　阿智村より
上川路

●御冥福を祈る

氏名　部落名　性別　年令
牧野　時雄　時又　男　八四
原田　喜雄　駄科　男　七五
野口東四郎　駄科　男　六八
伊藤　ミも　時又　女　七八
下平たみゑ　時又　女　五七
（望月　文博　桐穂高町へ
林　綱代　時又　林
（下田　俊文　時又
久保田朝子　鼎町より
（小市　宏毅　上田市へ
伊原　雅子　時又
（松沢　敏彦　時又
宮沢　栄子　松尾より
（小林　恒喜　長野原
坂木千佳子　福岡市より
（下平　茂敏　桐林
小川　久子　名古屋市より
奥野　滋　三重県へ
金子　秋　上川路
（岡島鉄司　時又
豊口　簿子　上飯田より
（中島　紀一　時又
松下　米子　松川町より
（山田　時又
神津　清子　勝　佐久市より
（江本　活　佐賀県へ
矢沢　豊子　駄科
（杉本　誠　上郷へ
今村千恵子　時又
（伊原　行雄　東京へ
誠子　時又
（隆嶋　昭義　岡谷市へ
牧内　駄科
孝子

随想リレー　81回

民謡講習会のうら話し

上川路　久保田文二

「今晩民謡講習会があるで行かまいか」「うん行かまい呼んでな」この様な会話が私達の部落でも聞かれる様になったのは昨年の春でした。其れ迄は前主事河井さんや他部落の方々の熱心な進めにもが非常に協力して呉れた事、又、何故か踏み切る事が出来ず色々の催のある度に肩身の狭い思いをして居た訳ですが、丁度分館の文化部を担当して戴いて分館正副館長さんや部員の方々婦人会の役員の方々と折りに振れて色々と話し合いをして居りましたが、たまたま婦人会の方々の熱意が実を結んで公民館の文化部にて責任を持って講習会を開催する事となった訳です。此れ迄の段取りは出来た物のプレーヤーは無いバンは無いで色々と困った問題もありましたが、最初は本館の協力をお願い致します。

〔訂正〕随想リレー前回まで続いて一〇六回とありますが、これは誤りで今回八一回が正しい回数です。お詫びして訂正します。

お陰様を持って多数の参加者を得て和気相々の中に第一回の講習会を盛大に終える事が出来ました其の後二回三回と会を重ねる度に参加者が増え主催者側と致しても非常に喜んで居ります。時代の変化と共に物の見方考え方が異って居る現在、とかく戸棚の片隅に流れ勝ちな郷土の民謡。一歩外へ出ればエレキが流れゴーゴーを踊って此の世のうさを晴らして居る若い人達、形こそ色々と異って居ても其の土地土地の風俗を歌い景色を歌った民謡踊りをして居る間だけでも一日のつかれを忘れすべてを忘れさして呉れる唯一つのいこいの場所であると思って居ります。此の講習会も会を重ねる度に盛会になって行く事は、陰には正副分館長さんや婦人会の方々地区の民謡クラブと異った所は男の参加者があると云う事は非常に嬉しく想って居ります。

発足当時心配して居りましたプレーヤーも好意ある方の寄附を戴き婦人会の方々のお骨折りでレコード版も幾枚か揃って大分軌道に乗って来ましたがまだまだヨチヨチ歩きの講習会でありますが故に地区先輩の方々の良き御指導を仰いで増々充実した講習会にしたいと張切って居ります。

今後共宜敷く御指導御協力をお願い致します。

時又＝中村線改修

時又と伊賀良を結ぶ、県道「時又―中村線」の改修工事が、四月末で完成した。これは、四十三年度に予算二五〇万円（頭初一五〇万、補正一〇〇万円）をかけての幅員の拡張工事です。

今迄、大型ダンプが通れば、人がよける場所も無い程狭く、その上度々の盛土や砂利敷で、道路の端へ寄れば、二輪車など転倒しかねない程危険な、いたみのひどい道で、此の度の改修工事は、地元からの強い要望もあったわけで、この工事の完成で一五一号国道や数年後に完成する予定の、中央自動車道路への経路として、増々、交通の混雑が予想される折から、この道路の改修の意義は大きい。

編集後記

▼風薫る五月、はためく鯉のぼりに急がされ企画した新年度第一号▼今年は五回発行の予定です。発行回数増加に伴ないあの人この人を復活しました。日頃疎遠になっている人の消息を知るのもいい事だとの考えの元に。今年の編集子は部長久保田巧、副部長塚平三郎、部員関島東洋雄、中島昇、大見新一、小林寿保、杉本勝吉、長沼龍、坂井利光、中島晋、森義宏